

二〇〇八年八月二七日（夙川公民館）

書に倦みて一息入るる月の窓	宏
蠮螋の所作はパントマイムかな	虎
向日葵の百万本か日をはじく	〃
けんけんの子らとあそべる赤とんぼ	まさる
愁思ともモデイリアーニの長き顔	〃
仕舞風呂心置きなく虫浄土	満天
ありなしの風にうなづくねこじゃらし	〃
ぬるめの湯残暑のほてりさましけり	わかば
大鯉の影見え隠れ蓮は実に	ひかり
	はく子

吟行句会みの選

二〇〇八年八月二七日（夙川公民館）